平成29年2月10日　発行

まこと通信

まこと通信は、「まこと」とご利用者様・ご家族様の情報共有のひとつとして発刊しております。まことの提供サービスを紹介し、実施している内容に対して少しでもご理解とご協力をいただき、よりよい介護サービスの提供に努めて参ります。発刊は毎月10日を予定しています。

良い介護の提供は、介護職員

私たちは、日々良い介護を提供しようと思って仕事をしています。しかし、そもそも、何が「良い」介護なのか。その定義自体が医療に比べてはっきりとしていません。それゆえに、介護職員は、自分達が行った「行動」に自信が持てなくなります。私たちの仕事は、普通のことを普通にやって、いつも「ありがとう」の感謝の言葉をいただける職業です。そんなすばらしい職業であることを理解して、仕事に望んでいただきたいと思います。

「質の高い介護サービス提供」のためには、一言で言うと、「質の高い職員の確保」につきます。

その一つとして大切なことは、職員の定着です。組織を見直し、管理者や介護リーダーを変更すると、職員の中には、退職を申し出てくるものがいます。色々な理由があるでしょうが、その問題を解決するために、管理者等を変更するのですから、退職の申し出は、一つのタイミング的問題であったと捉えています。釧路市内の介護職員は、事業所間の引っ張り合いで、市全体の母数は、慢性的に不足しているのが現状です。

もう一つは、愛社精神です。会社を愛するとは、建物や看板のことではなく、そこで働きながら共にする、利用者様・ご家族様、上司・同僚、取引先企業や所属する職能団体などでの役割を通して得られる人間関係すべてが、「つながり」として愛社精神になります。自分の努力の積み上げが、会社の信頼へとつながり、社会からの評価が得られます。その方の人生において、とても大きな意味を持つといえます。心理学者のマズローも、自己実現を最終目標においています。

それでは、「普通のことを普通にする」とは、どのようなことなのでしょうか？　私たちは、誰一人として「感謝の言葉」の見返りを期待して仕事をしているわけではありません。仕事の報酬は、まずは、給与でいただいていますし、何よりも、その仕事に使命感を持つということです。自分しかできないことがあると、仕事に対する自信も沸き、不満も減ります。時として、おごりたかぶることもあるでしょう。それも、研鑽を積んでいくと、すぐに自分が愚かだったことに気づかされます。普通というのは、例えば、排泄の支援をすると決めている場合、利用者様の意向を無視して、排泄や更衣を行うことも可能ですが、さすがに、今の介護の現場において、無理やり本人の意向に沿わずに、実施することはないと信じています。では、そこにもっていく、もって行き方で必要なことは、コミュニケーション力と対応力です。「トイレに行かない」とおっしゃる方を、どのようにお連れするか? ただただ、「トイレに行きましょう」を連呼しても、それで相手は行きたい気持ちには決してなりません。日常の観察や排泄チェック表から、その方の排泄パターン(時間)を理解し、ちょっとしたしぐさに合わせて声かけをすることです。ここで、大切になることは、「トイレに行きましょう」と声をかける前に、トイレ以外の雑談を、日常的に「10センテンス」ぐらい、誘導する動作の前にしているかどうかです。今年は、自分の事業所を確認し、実行していきたいと思っています。

昨年、北海道認知症グループホーム協会がお呼びし、NHKプロフェッショナルに出演された、介護事業所経営者加藤さん（写真左）のところに、1月中旬に研修に行き感じたことは、スタッフが利用者様と「よく会話している」ということです。これを、当介護職員に指示すると、おそらくは、「やることがあるのでそんな話しなどしている暇はない」と、きっと答えるでしょう。加藤さんの所のスタッフは、掃除をしながら、調理をしながら、利用者様と会話をし、利用者様のできそうなところをやっていただき、できるように工夫して提示し、積極的に関わりを持っていました。これこそが、私の理念にある、利用者様の潜在能力を評価して、利用者様の尊厳と自己実現を達成すべく、自立に向けて、介護職員が支援する姿であると思いました。考えていたことは同じでしたが、実現している点で、加藤さんの事業所は、すごいと改めて感じました。私たちの株式会社リハビリサポートまことは、リハビリの専門化が立ち上げた事業所です。理念をもって、その方向での介護サービスを提供することで、おのずと利用者様から感謝され、喜ばれる事業所になります。これをお読みの皆様には、まことは、まだまだ、満足いく介護サービスの提供にはなっておりませんが、職員一同がんばっている途中であるということを踏まえて、ご支援いただければ幸いです。

小規模まこと　ほのぼの日記

「一日、一笑」を目標にまことに来ると毎日がレクリエーション活動のように楽しんでいただけるよう試行錯誤で頑張っています。

初詣

今年最初の外出は、三吉神社への初詣に行きました。
とても寒い日でしたが、みなさん寒さに負けず、それぞれ、今年1年のお願いごとをされておりました。

成人式

今年も、小規模まことで、成人を迎えた職員が1名います。
各居室を回って挨拶をし、ご利用者様と一緒に記念撮影を行ないました。

書初め

この日は、皆さんと書初めを行ないました。お手本を見ながら、一文字ずつ丁寧に書かれていました。また、今年の抱負を書いている利用者様もいらっしゃいました。

カルタ取り

この日は、女性利用者様が、カルタ取りに白熱されていました。普段は、控えめな利用者様も、身を乗り出して、たくさんの枚数を取ることが出来ていました。

福笑い

皆さんと福笑いを行ないました。目隠しをされている中、「ここかな～？」「いや、こっちだ！」と夢中で手を動かされ、「上手くできただろ～」と、得意満面な顔で笑われていました。

すごろく大会

福笑いの後は、皆さんとすごろく大会を行ないました。サイコロを振り、「あら～1だわ。」「あと4出せばゴールだ！」と夢中になられていました。

西崎の奮闘記

寒さが身に染みる時期が続いております。当小規模多機能型居宅介護まことは、24時間の暖房設備により、施設内は、毎日が温かく、出勤時は、いつも幸せを感じている次第であります。（冬なのに、半袖のユニフォームで過ごせるのは、介護職の利点の一つではないでしょうか）。小規模・アシストで生活されているご利用者様も、この時期は、通院や行事以外は、施設内で過ごす時間が増える傾向が見られ、運動不足を解消するために、外で散歩が可能な方で、天気が良く道路状況が良好な日は、職員と散歩を試みております。施設内でも、リビングから、2階のアシストリビングまで行く階段で、歩行運動を行いながら上り下りされるなど、毎日の「個別運動」「機能訓練」に取り入れて行っており、ご利用者様も各々の体調に合わせて、日々頑張っている次第でございます。

また室内にいることが多いためか、一部のご利用者様で、乾燥肌による皮膚のかさつきや発赤がしばし見られ、月1回の皮膚科専門の往診で、医療処置を受けられたり、塗り薬を処方され塗布されるかたもおられます。職員間でも、この乾燥時期は、施設内・各居室の「加湿」を試みており、濡れたバスタオルやフェイスタオルを意図的に干すことで、通常より湿度が10%から20%の上昇が見られ、一定の成果が確認されており、宿泊・入居されているご利用者様からも「夜間、喉がいがいがしにくい気がする」とご感想が聞かれております。

小規模やよい　ほのぼの日記

喜びや楽しみはもちろん悲しみも共有しながら、それぞれの個性を大切に生活を送っていただけるように、安心・安全をモットーにサービスの提供に努めます。

初日の出

新年を迎えた朝、早起きされたご利用者様。初日の出を眺めながら、「綺麗だねえ」と話されていました。
新年に相応しい美しい一枚です。

新年カラオケ大会

今年初のレクリエーションは、カラオケ大会。
美声を披露してくださったり、職員とともに歌ったり、ただ心地よさそうに目を閉じ、耳を傾けたりと、それぞれが楽しんでおられました。

流行に合わせて

使った道具を片付けていたところ、おもむろに、ひとつひとつを身につけ、「似合いますか？」と微笑みながら一言。もちろんとてもお似合いですよ。

微笑み

とても真剣に新聞を読まれていたので、素敵と思い、カメラを向けましたが、気づいた途端、恥ずかしそうに笑って顔をそむけてしまいました。はにかむ笑顔も素敵です。

お誕生日会①

今月にお誕生日を迎えられるご利用者様と、焼肉店に行ってきました。
「おいしそうでしょう」と料理をこちらに向けてご満悦なご様子。たくさん食べられましたか。

お誕生日会②

今回は、ご家族様も参加して下さいました。
食事の最後に、皆様と記念に集合写真を撮りました。ご家族様にも、よい思い出になりましたら幸いです。

勝水の奮闘記

先人曰く、「1月行く」「2月逃げる」「3月去る」と言いますが、お正月気分も抜けないまま、「あっ」と言う間に1月が行き、2月も早10日過ぎとなり、このまま逃げて行かない事を願いつつ日々を過ごしたいと思います。

２月１日付で、小規模多機能型居宅介護やよいの介護リーダーより、管理者に就任致しました。まだまだ、知識不足、未熟者ではございますが、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様のご理解、ご協力のもと、誠心誠意勤めて参りたいと思います。前任者本間も、ケアマネとして在籍しており、新たに職員となりました大柳の豊富な経験と知識を頼りに、職員一同力を合わせ、「安全」「安心」できる小規模多機能型居宅介護やよいを目指して行きたいと思っておりますので、前任者共々宜しくお願いいたします。

グループホームまこと　ほのぼの日記

☆天気の良い日は外に出掛けよう！家の中でも、何か楽しい事はないかな？
事前に計画した行事は少ないのですが、思い立ったが吉日！
何でもやっちゃおう！の精神で毎日楽しんでいます。

初詣①

健康を願い、真剣な表情で、お参りをされていました。
お参りの後には、おみくじを引いてきました。

初詣②

初詣の帰りには、温かい中華まんを食べました。
寒い中で食べる中華まんは、格別に美味しかったようで、笑顔がこぼれておりました。

カルタ大会

新春　カルタ大会。
今回は、ことわざカルタを使用しました。昔なじみのことわざを思い出し、真剣な表情でカルタを見つめ、大きな声でカルタをとられていました。

誕生日

誕生日に、回転寿司に行ってきました。
好きな寿司を、お腹いっぱいに食べ、「美味しかったわ～」と満腹顔でした。

フラダンス

ボランティアの方と一緒に、フラダンスを踊りました。
皆さん、上手に、リズムよく踊られていました。

ボール投げ

午前中のレクリエーションの様子です。「〇〇さ～ん！いくわよー」と、お互いの名前を呼び合いながら、ボール投げを楽しまれていました。

柴田の奮闘記

1年で1番寒い時期を迎えておりますが、ホームの中のご利用者様方は、風邪もひかずに過ごされています。職員のほうが、体調を崩している状態で、利用者様にうつさないかと、冷や冷やしている今日この頃です。

ご利用者様方は、風邪はひかないのですが、徐々に持病の悪化が進行しており、病院への受診の回数が増えてきている状態です。ご家族様にも、付き添いをお願いしながら、悪路の中、ご協力をいただけている事に感謝しています。本当にありがとうございます。

さて、1月は初詣（×3日間）や新春カルタ大会、日舞にフラダンスにお誕生会など、行事が目白押しにありました。冬場の行事には、いつも苦慮しています。皆さんに楽しんでもらえるように企画、運営側はてんてこ舞いです。それでも、事故も無く、皆さんの笑顔が多く見られたので、まずは一安心です。そして、降雪の多い時には、職員総出で雪かきを行っています。その様子を窓から眺め、「手伝ってやれなくて、ごめんね」と声を掛けてくれています。職員が雪まみれになった午前中は、利用者様が気を遣ってくださり、「今日は、体操お休みでいいよ。大変だったっしょ。」と優しい言葉をかけてくれます。そんな時は、調子に乗り、ちゃっかりお休みさせていただきます。長年、雪国に暮らしてる皆様なので、雪かきの苦労はわかってもらえています。その心に感謝しております。長い冬も後半戦に入りました。早く春が来ることを心待ちにしながら、今日もせっせと体操しましょ。

グループホームやよい　ほのぼの日記

馴染みの物に囲まれた、くつろぎのある暮らしの中で、その人らしい生活をして頂きたいと願っております。「共に考え、共に学び、共に生きる。」を目標に職員一人一人が笑顔があふれた暮らしの提供を心がけたいと思います。

年始めのカルタ大会！！

年始めの1月に、カルタ大会を行いました。「これかな？」「これは、私が先に見つけたよ！」と皆様笑顔で楽しまれておりました。

1月お誕生日

1月1日が誕生日の女性利用者様です。
いつもお誕生日の事を聞くと「親が、元旦はめでたいからと、誕生日にしてくれたんだ」と話してくださるご利用者様。これからもお元気でいてくださいね。

避難訓練

今年始めの避難訓練を行いました。避難訓練でも、大きな混乱はなく、無事に終了する事が出来ました。

節分の準備

節分レクで旗上げを行う為、利用者様に、新しい旗をつくるお手伝いをしていただきました。「ここを付ければいいのかい？」と、一枚一枚丁寧に作ってくださいました。

節分パート1

今年は、2月4日に節分レクを行いました。
ラジオ体操、旗上げゲームを行い、最後はメインの豆まきを行いました。

節分パート2

職員の「鬼をやっつけましょう！」という掛け声で始まった豆まき。職員が鬼に扮し、今年も無事に鬼退治が出来ました。
この日のおやつは、恵方まきロールと甘納豆を召し上がっていただきました。

石黒の奮闘記

立春を過ぎても、なおきびしい寒さが続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。
毎年、この時期になると、風邪やインフルエンザが猛威を振るっていますが、職員の体調管理や感染防止、ご家族様の面会時間短縮のご協力もあり、今のところ、目立った症状が見られていませんが、まだまだ油断ができない時期です。
昨年の２月上旬頃には、入居者様、職員と立て続けにインフルエンザにかかりました。蔓延防止の為、ご自宅での静養となりますが、ご家族様が遠方であったり、高齢であったりと、難しいのが現状です。入居者様は居室での食事や生活を余儀なくされます。ですが、「俺は（私は）大丈夫だ。」と、咳をしながら居室を出られて歩いてしまいます。そこに認知症状の対応の難しさがうかがえます。
今年は、入居者様、職員共々健康でありたいものです。

小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム　ほのぼの日記

「我が家スタイル」の緑ヶ岡ホームの日常です。今月も笑顔の絶えない利用者様との触れ合いを綴って参ります。いつまでも「本物のお客様第一主義」を念頭に、職員一人ひとりが心配りをマメに行い、心から愛情をもって利用者様に接して参ります。

羽子板

お正月明けに、昔懐かしい羽子板の飾り物を作りました。折り紙の扇子やお花を飾り、素敵に出来上がりました。

餅付き

ご利用者様皆さんで、餅付きをしました。
作業をしながら、昔話で盛り上がり、にぎやかでした。
割烹着姿に、ほっかぶりが、さまになっています。昭和の母です。

花輪

展示会用に、折り紙で薔薇の花作り、リースに飾りつけ、ウエルカムボードを制作中です。完成が楽しみです。

おやつ

一口用のお菓子の上に、生クリームを乗せ、ブリーベリーをトッピングすると、プチケーキに変身しました。
可愛く出来上がり、お味もしっとりと甘いです。おひとつ如何ですか。

いも団子

職員の中に、「芋団子を食べた事が無い」と聞いたご利用者様が、腕を振るって下さいました。
もちもちの出来上がり、ほっぺが落ちそうなくらい美味しいと感激されていました。

豆まき

緑ヶ岡デイサービス内では、桜も満開に咲き、花見をしながら豆まきをしました
今年も、皆さん無病息災をお願いしながら、豆を年の数だけ食べられました。

川村の奮闘記

2月に入り、立春を過ぎても、釧路では、底冷えのする厳しい寒さが続いています。路面は、日中解けた雪が、気温の下がる夕方に凍りつき、路面状態が悪くなり、送迎を担当する職員は、少し遠回りでも、広い道を走り、ご利用者様の安全確保を心がけ、慎重にハンドルを握っています。
また、この時期は、インフルエンザウイルスやノロウイルスが、乾燥を好み、活発に悪さをし、流行します。今年は、「全国的に、10年に1度の大流行に注意」との警告も出されています。日常生活の中で、基本的な予防策を心掛けたいものです。
緑ヶ岡デイサービスの利用者様の中にも、体調を崩され、お休みされる方も数名いらっしゃいますが、2月の15日～28日に「大地みらい信用金庫釧路東支店」内で開催される作品展に向けて、作品作りに取り組んでいます。「和と洋」をテーマに、紙工作を中心とした共同作品、「折り薔薇のウェルカムボード」や「桜の花」「扇子」を制作中です。桜の花工作では、小さな花びらを1枚1枚貼り付ける細かい作業ですが、談話されながら、根気良く作業されています。「ウワ～本物みたい！綺麗！」と、笑顔で話されているのが印象的です。緑ヶ岡ホーム内は、笑顔と桜が満開です。お時間のある方は、是非、展示会場へ足を運んで頂ければ嬉しく思います。

小さなデイサービス大町　ほのぼの日記

『利用者様と心をかよわせ、共に生活を支えあう』を、モットーに
スタッフ一同、日々頑張っております。

101歳お誕生日おめでとう

1月5日に、お誕生日を迎えられ、とてもお元気でいらっしゃいます。私達職員と頓智の利いた回答が。面白話を話されます。益々お元気で、来所していただきたいと思っております。

お誕生日

大町では、最年少のご利用者様。先輩ご利用者様の輪の中に混ざり、明るく笑う姿が、ほっこりします。声も、少しずつではあるけれど、出せるようになったこと、職員も嬉しく思います。

お誕生日

90歳を越えられても、とてもお元気でいらっしゃいます。
益々お元気で、大町に通って頂きたく思っています。来年も再来年も、お祝いしたいです。

お誕生日

お話がとても大好きなご利用者様。その場の雰囲気をとても明るくしてくださいます。皆と楽しそうにお話しする姿に、私達職員も、笑顔がこぼれます。

ペン立て

フワフワ粘土を山にして、富士山をイメージして和紙をペタペタ貼り、ペンを立てるところには、フエルトで雪を赤富士に。皆さん中々良い出来栄えでした。

節分に

節分に向け、ご利用者様を、どアップにハイチーズ。
皆の顔に、豚っ鼻、団子っ鼻、鷲っ鼻、と様々貼って、眉と角と牙を、誰が一番鬼らしいかなと、パーツを貼ると、自分が何処か解らない様子。怖いねこの人、と大笑い。

堤の奮闘記

年が明けて、早いものでもう1ヶ月が経ちました。冬と春の節目となる節分を過ぎると立春となりますが、その兆しは感じられず、釧路は厳しい寒さが日々続いております。そのせいか、ご利用者様も体調を崩され、お休みをされる方が多くなっているように思われます。いつもの顔が見られず、私も含め、ご利用者様も寂しい思いをしております。1日も早く良くなって、元気なお姿を見せていただきたいと願っております。そんな中でも、元気に来られている他のご利用者様。来所時の挨拶は、「今日も寒いね～。早く春になって暖かくなればいいのに」という声が多く聞かれておりました。また、皆様と、暖かい日差しの中、お散歩がしたいものですね。

さて、事業所の中ではというと、手工芸を行いながら、他のご利用者様とお話に花が咲き、盛り上がっているかと思えば、突然、いつもの歌声が。その声に誘われ、他のご利用者様も、元気に大きな声で歌われる姿が見られております。そんな元気なご利用者様のお姿を見られることは、私も大変うれしく思います。これからも、まだまだ、厳しい寒さが続き、道路状態も悪くなっておりますので、外を歩く際には、転ばぬようにお気をつけて下さい。

そして、2月15日から2月28日まで、釧路町桂にあります、大地みらい信用金庫釧路東支店にて作品展がございます。当事業所では、1年間、ご利用者様と一緒に製作した作品の数々を展示いたしますので、お近くにお越しの際には、ぜひご覧いただければ幸いに存じます。心よりお待ちしております。

株式会社リハビリサポートまこと「総会・新年会」実施

【平成29年度総会】

経営理念　唱和

年頭所感　代表取締役　山　田

事業計画

小規模多機能型居宅介護まこと	管理者　西　﨑
グループホームまこと	ホーム長　柴　田
小さなデイサービス緑ヶ岡	管理者　川　村
小さなデイサービス大町	管理者　堤
グループホームやよい	ホーム長　石　黒
小規模多機能型居宅介護やよい	管理者　本　間
ケアプランセンターまこと	管理者　髙　橋
看　護　師	長

【平成29年度新年会】

挨 拶・乾 杯　代表取締役　山　田

表　　彰　平成28年度、資格取得及び各種研修修了者
延べ30名

新入社員紹介　平成28年5月（新入社員歓迎会）以降に入社
総勢21名

歓　談・ゲーム　施設対抗

記念写真撮影　参加者全員

『まこと保育園』 平成29年4月オープン予定！

所 在 地　**釧路市若松町8番5号（旧しんくみ鉄北支店跡）**
定　　員　**19名**
形　　態　**認可外保育園**
対象年齢　**0歳～就学前**
開園時間　**延長含め　5時～22時**
内　　容　**一時預かり保育、二重保育可、兄弟割引制度有**

【利用申し込み・お問い合わせ】
株式会社リハビリサポートまこと
TEL　0154－44－7733
FAX　0154－44－7734
※弊社ホームページからも、お問い合わせできます。

『 作 品 展 』 開 催 の ご 案 内

昨年度に引き続き、『作品展』を、次の日程で開催いたします。日ごろから、各施設で、ご利用者様が作成した作品が数多く出品され、会場に展示いたします。大勢の皆様にご観覧いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

日時　平成29年2月15日（水）～2月28日（火）
9時～15時
（※土曜・日曜日を除く）
会場　大地みらい信用金庫　釧路東支店
（釧路町桂5丁目1番4）

平成28年度会場風景

キャリアアップ支援研修

第7回 『突然の介護・明るい介護』

１月21日（土）、釧路プリンスホテルを会場に、タレントの新田恵利さんをお招きして、『突然の介護・明るい介護』と題して講演会を実施いたしました。

① 山田勝雄（NPO 法人　日本医療福祉介護協会理事長・（株）リハビリサポートまこと代表取締役）による講義

「認知症介護と脳卒中介護の共通点」

・認知症も脳卒中も、脳の病気であることが共通点。
・疾患が違っても、生活の支援をしていくという点で、介護は同じである。

②新田恵利さんの講演

・お母様が寝たきりの状態になって介護が始まった。
２０１４年秋に、お母さんが圧迫骨折で入院。その後、退院したが寝たきりの状態のため、介護が始まった。
地域包括支援センターの親切な対応で、介護ベッドの使用など、今後どうしたら良いのかなどが分かり始め、一安心できた。

・新田さんの介護のひらめき・・・高齢者向けの食器をプロデュース
新田さんは「漆器の食器セット」をプロデュースされました。漆器の軽さが高齢者の方にも扱いやすいことに加え、器は漆黒、お盆は鮮やかな朱色で彩り、視力が低下した方にも食器が見やすいことが特徴。

・新田さんが笑顔で介護を話せる理由
介護をしていて、大変だ、辛いと思う時もあるけれど、それ以上に、お母様と過ごすことで、一緒に笑ったりする楽しい時間があるので、新田さんは、明るく笑顔で話せるとのことです。

キャリアアップ支援研修に参加して　　グループホームやよい　在　原

新田恵理さんのお母様の話を聞きながら、自分や両親の事と重なってしまい、胸が熱くなりました。
これから来るであろう親の介護・グループホームやよいのご利用者様の介助の際、新田さんのように、明るく、前向きに関わって行きたいと再度心に誓いました。

まことクイズ

～今月の問題～

この写真の建物の名前は何でしょうか？

１．米町ふるさと館　　２．文学館

３．鳥取百年館

～先月の問題～

この写真の学校の名前は何でしょうか？

１．釧路市立博物館　　２．釧路市民文化会館

３．釧路市音別町文化会館

答えは2番の釧路市民文化会館でした。

職員紹介

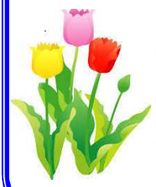
富　山
（小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム
看護師）
１０月３１日入社

アットホームな雰囲気で、ご利用者様とスタッフの笑顔が多いです。ご利用者様に寄り添い、ケアが出来るように頑張ります。よろしくお願いいたします。

細　野
（大町事務所　事務職員
兼介護職員）
１１月１８日入社

分からない事が多く、何から何までが勉強の毎日です。仕事をしながら、多くのことを学び、職務に専念していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ケアプランセンターまことからのお知らせ



2月になり、寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。暖房を使用しているため、乾燥などにより、インフルエンザの流行が拡大しております。今年は、A型が主流のようですが、うがい・手洗いの励行や休息・栄養をしっかり摂り感染を予防していきましょう。
平成29年度より、釧路市で実施する介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の市民向け説明会が、今月より、お住いの各地域にて開催されます。テレビや新聞ではわかりにくかった支援の内容の説明会となっておりますので、お近くで開催されるときは、ご参加ください。また、当事業所でも、ご相談をお受けいたします。お気軽にご相談ください。

ケアプランセンターまこと　　管理者　髙橋
TEL 0154-68-5531　FAX 0154-68-5399

大判タオル・タオル等の寄贈！

リハビリサポートまことの各施設では、多くの大判タオルやタオル等を必要としています。ご家庭で使用されていないタオルやシーツ等。また、ご使用済みのシーツやシャツ等がございましたら、ご寄付いただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。

連絡先　　大町事務所
TEL0154-44-7733　FAX　0154-44-7734（担当松下）

現在の空き状況

２月８日現在

施　設　名	空き人数	備　考	お問い合わせ先 TEL	担当者
小規模多機能型居宅介護まこと	２ 名		0154-41-3633	西　﨑
アシストリビングホームまこと	０ 名		0154-41-3633	西　﨑
グループホームまこと	０ 名		0154-41-8355	柴　田
グループホームやよい	０ 名		0154-42-2078	石　黒
小規模多機能型居宅介護やよい	空き有り		0154-64-5210	勝　水
アシストリビングホームやよい	１ 名		0154-64-5210	勝　水
小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム	空き有り		0154-46-4890	川　村
小さなデイサービス大町	空き有り		0154-42-8377	堤

随時ご相談に応じておりますので、
どんな事でもお気軽にご連絡ください。

ま　ごころこめて　こ　の住み慣れた場所で　と　もに築きます

発行：株式会社リハビリサポートまこと
住所：釧路市大町５丁目２番２１号　　電話：0154-44-7733　発行責任者：代表　山田　勝雄